

りんご生育情報(9月号)

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

令和4年9月20日発行

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 気象の推移

8月1日から9月12日までの平均気温、日照時間、降水量の推移は図1のとおりです。気温は平年より低い時期と高い時期を周期的に繰り返しています。日照時間は、8月30日から9月10日にかけて平年より低く推移しました。

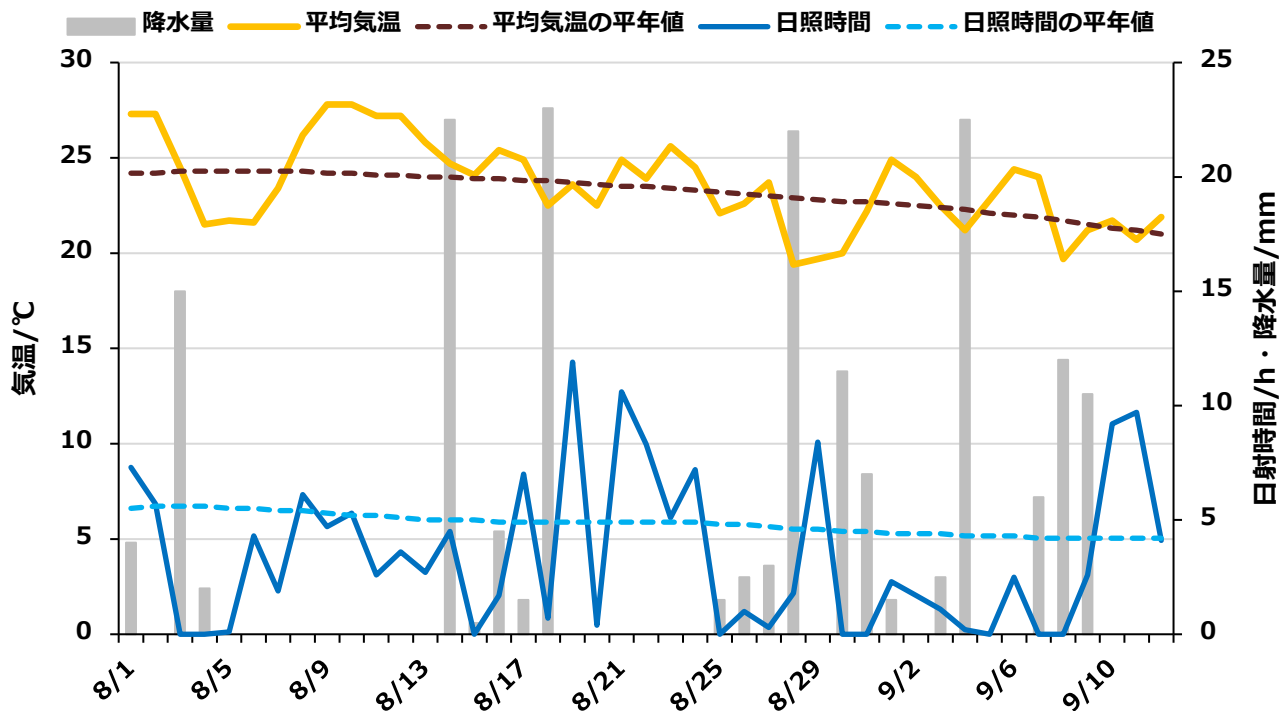


図1 8月1日から9月12日までの気象の推移（アメダス地点：米山）

2. 果実肥大状況

8月10日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、平年と比較して、タテ径106%、ヨコ径108%と大きくなっており、果実肥大は良好です（表1）。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	74.2	84.1
平年値	67.6	75.9
平年比	106%	108%
(参考) ヶヨイ外樹	73.8	91.5

※東和町錦織の測定値。ヶヨイ外樹は中田町川欠の測定値。

3. 病害虫の発生状況

宮城県病害虫防除所が8月26日に発行した発生予報第6号では、斑点落葉病、ハダニ類、キンモンホソガの発生量が「やや多い」とされています（表2）。

登米管内でも未だハダニ類（リンゴハダニ、ナミハダニ）やキンモンホソガの発生が散見



されています。特にナミハダニの越冬成虫（体色は薄い赤色、写真1）は防除が困難です。現時点でハダニ類の発生が多い場合は越冬成虫が見られる前に防除に努めましょう。

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第6号

病害虫名	発生量
斑点落葉病	やや多
ハダニ類	やや多
キンモンホソガ	やや多



写真1
ナミハダニの越冬成虫

4. トピックス～りんごの着色メカニズム～

・果実の赤色の着色 ⇒ 赤い色素であるアントシアニンが生成されることで起こる現象

・アントシアニンの生成

↓ 幼果期・・・どの品種でもアントシアニンが生成される

↓ 肥大生長期・・・アントシアニンの生成が減少

↓ 成熟期・・・赤色品種：生成が盛んになって真赤に色づく

黄色品種：生成量が少なく若干色づく程度

・アントシアニンを良く生成するための3つの基本条件

光：光の中でも着色に強く関与するのは紫外線である

温度：10～20℃の低温でアントシアニンがよく生成される

最適温度は品種によって多少異なり、収穫期の遅い品種ほどより低温で生成される

糖度：アントシアニンの素となるのはブドウ糖である



図2 着色のイメージ図

参考：「農業技術体系 果樹編 1りんご」（農産漁村文化協会）

🍎 宮城県農林産物品評会開催のお知らせ 🍏

今年も例年どおり、農林水産物品評会を開催します。10月22日(土)から23日(日)にせんだい農業園芸センターで展示予定です。ぜひ、御協力をいただき、自慢のりんごを出品くださいますようお願い申し上げます。

🗂️ 申し込み方法について 🗂️

1) 出品物：果実（りんご、なし、ぶどう（大粒系））

2) 出品規格：りんご 及び なし 5kg段ボール詰め+1個（食味確認用）
ぶどう（大粒系） 2kg段ボール詰め+1/2房（食味確認用）

3) 出品申込：令和4年10月11日(火)まで

普及センター高田まで御連絡ください（TEL：22-8603）。後日お渡しする申込書に、住所、氏名、電話番号、品目名、品種名をご記入願います。

4) 搬入日時：令和4年10月20日(木)（予定）に、普及センター職員が回収に伺います。

5) その他：今年も出品物の販売は行わず、原則寄付での出品となりますが、果実類は展示終了後に返却可能です。返却を希望する場合はお申し出ください。寄付いただきました場合は、県内の福祉施設等へお届けするなど、有効に活用させていただきます。

